

クリーンで尽きることのない風力で 世界中の人々が容易に発電できる環境を提供

自然エネルギーの活用が叫ばれ、太陽光発電と並んで注目を集める風力発電。四方を海に囲まれる日本では比較的良質の風が吹き、風速4m/s以上の利用可能な風力エネルギーの量は、日本の年間エネルギー消費量の6～7%に達するという報告もあります。

しかし、通常の風力発電に使用される大型風車には、瞬間的な風向の変化に対応しにくい、風が強すぎると保安のために停止しなくてはならないといった課題もありました。小型風力発電機の専門メーカー ゼファー株式会社は、産学官の協力による4年半の研究の結果、電力生産性の高い小型風力発電機「エアドルフィン」を開発しました。

弱風でもプロペラが回り始め、魚の尾びれにヒントを得たスウィングラダー・システムによって風向きの変化にもしなやかに対応して効率的に発電します。また、台風クラスの強風でも発電し続けます。

すでに、一般家庭や学校・教育機関、企業のビル屋上などで利用されているほか、船舶での発電用途や、送電線が届かない3000m級の山小屋で、浄化槽トイレや電話、洗濯機の電源として活用されています。さらに、タイでは政府関連施設に、モルジブでは携帯電話の基地局に、ドイツでは大学に設置されるなど、世界30カ国以上で利用され、電力インフラの整っていない地域での暮らしにも役立てられています。



長野県八ヶ岳赤岳天望荘(2722m)での設置例